

# ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース

2013.10.4発行

NO.33

研究会報告と冬研お知らせ

## なんと、参加者180名！

- 長野県教職員組合 事務職員部 学習会 -

8月30日(金)に行われた学習会に、山崎事務局長が要請を受け、講演を行いました。事前に送られてきた長野県の事務職員配置の実態も参考にしながら、新たな調査表・グラフも加えて作成した、事務職員版のパワーポイントで説明を行いました。

「難しい話がよくわかった」「今まで知らなかった(目から鱗)」「いい勉強ができた」「もっと聞きたかった」などの感想を頂きました。

山崎事務局長は、「これまでの調査分析の手法に、新しい観点を取り入れることも出来、本会の活動にとっても、大きな成果があった。」と、ますます意欲を深めています。

詳しい感想は、次ページをご覧ください。

### 連絡や、ご質問はこちらへ

メール shiraberukai@ae.auone-net.jp

<yutoriarukyoku@te.lolipop.jp >

## 調べる会・冬研 inさいたま開催決定！！

2014年 1月25日(土)~26日(日)

春の大阪、夏の名古屋と研究会を実施してきましたが、この度、埼玉大学の高橋哲先生のご厚意により、さいたま市で研究会を実施できる運びとなりました。

日程や会場が確定しましたら、お知らせします。およその内容としては、1日目が「調べ方講習会」、2日目が「パンフ・図書」「日本教育法学会への提出予定研究」の検討会議などと考えています。ご要望などありましたら、事務局までお知らせください。

## 教育科学研究会 in大阪

8月10日(土)教育科学研究会大阪大会の「政治と教育」分科会で山崎事務局長が「大阪の教育費政策の実態と手法」と題して大阪の教育財政分析を報告しました。その報告内容は教育科学研究会機関誌「教育」10月号の特集「教育費『貧乏物語』」(かもがわ出版)に論文「データで読み解く教員給与削減の意味」として掲載されました。

これからの予定

研究会

一月二五(土)・二六日(日)

調べる会冬の研究会

ところ **さいたま市**

会場が確定するのは、十月下旬になります。

出版予定(日時は未定)

日本教育法学会四〇周年記念出版 『現代教育法の争点(仮題)』 法律文化社

に山崎洋介の論文「義務教育国庫負担制度と教職員定数」、橋口幽美の論文「義務教育諸学校における教職員の非正規化について その法的仕組みと現状」の論文が掲載の予定

『内発的発展の地方財政(仮題)』 自治体研究社  
に山崎洋介の論文「教育の自治と地方財政」が掲載予定

## 長野県教組・事務職員部学習会 参加者からの感想

- 1 お話がとてもじょうずだったので、ずっと入ってきました。数字やグラフをもとにした説明がとてもわかりやすかったです。数字のからくりは恐ろしいと思いました。
- 2 「定数」って組合でよく聞くけど、なんとなくでしか、というか、全く分かっていなかったことが、今日よく分かりました。課題解決に取り組むと同時に、こういう基礎的な勉強をもっとしていきたいと思いました。
- 3 自分が今まで持っていなかったマクロな視点から、長野県の教育について考える切欠になりました。
- 7 いろいろなデータから教育にかかる県の支出しているお金などがよく分かった。よりよく教育を実施するための予算について組合として声を上げるべきだと思う。
- 9 すごく分かりやすい講演だった。長野県、事務職の状況が分かった。是非またお聞きしたい。
- 10 数値から見えてくる行政の思惑や教育を取り巻く状況を分かりやすく教えていただいた。持ち帰ってさらに理解を深めたい。
- 15 大変ためになった講演でした。よく知らずに今まで過ごしていたのだと痛感しました。勉強します。
- 17 今までなんとなくでしたが「定数」のことをとらえていなかったと痛感しました。いろんなくみ(しくまれている?)で、現状があるということがよく分かりました
- 21 とても興味を引く内容で、あっという間に時間が過ぎました。データで見ると、現場に臨時の職員が増えたなあと感じていましたが、納得しました。
- 24 定数と給与の関係をデータで見られて興味深く聞くことができました。
- 26 楽しい話し方、たくさんのデータ数字等で分かりやすく説明していただきありがたかった。自分の頭の方がいまひとつスピードについていけず残念だった。
- 27 事務職員定数の算定表(2Aページ)の解説はとてもわかりやすかった。学校(教員)の臨時・非常勤化は進んでいると思うが、2012年度非常勤講師173人は少なすぎる。学校は今後3年後からの大量退職と少数化学校統廃合による必要数減のバランスを県がどう取っていくのか、やはり再任用と臨時・非常勤が増えそうですね。
- 31 さすが教員の方で話は難しかったが、今まで知らなかった用語や制度が分かり参考になった。関西の方なので、関西弁でユーモアも交えてでしたので、皆興味深く聞いていた。

このニュースは会員以外の方にもお送りしています。ご意見・ご感想などお寄せください。

32 今まで全く知らない世界を知ることができました。調べるって大事なことですね。午前の学習会とも関連して話して下さる場面もあり1日かけて考えることができました。

37 なんだか今までだまされていた気分でした。数字から見るとよくわかることもあるのですね。

38 データからとても分かりやすく講演していただいたと思います。とばした後半部分もまた聞いてみたいです。

40 定数についてよく知ることができた。何となく感じていたことが数字でよく分かった。

41 おもしろく聞くことができました。多くの部員に知らせたい(聞かせたい)内容でした。

## 事務職員部 木下ひろみさんより

先日は長野県教組事務職員部のために遠路はるばるおいでいただき本当にありがとうございました。講演だけでなく、具体的に私たちの資料を見ていただいたりわからないことを教えていただいたり、担当として定数の見方を向上させることができました。

30日の学習会は関心も高かったのか県派遣以上に支部派遣等の参加者も多かったです。私も含め多くの事務職員が一人職場のため、学校が手薄になることを少し気にかけてながら年休で参加しています。県南の地から3時間もかけて来る人もいます。その甲斐あったと思ってもらえる実のある学習会を開催することができたと主催者側として感謝の気持ちでいっぱいです。

先生のお話は、経験年数の浅い者には難しかったかもしれませんが、多くの事務職員はやはり仕事柄、大変興味深かったのではないのでしょうか。昔は給与費の決算調書も作りまし、義教法堅持の闘いも長い間やってきました。臨任者や再任用者の給与も見当がつきます。

定数内臨採を解消できないのは、県が新規採用するにあたり、若年退職者が早い段階で見込めないことや、新採予定者の辞退などによるものと思っていましたが、実は、県は臨任者数をはじめからある程度見込んでいると考えた方がいいのでしょうか。また30人規模学級について、長野県は県単独事業で年々対象学年を増やし、今年はずいに中3まで拡大した...なんてちょっと違いますよね。国の加配でしたね。

事務職員定数についても、特別支援学校のことなんて考えたこともありませんでした。またお話の内容を振り返り、今度は一人ではなくてこの話を一緒に聞いた人たちと、こういうことじゃないか、ああいうことじゃないかと話し合っていきたいと思います。いずれにしても、調べる会が苦労して手に入れた資料があってこそその説得力のあるお話でした。

このニュースは会員以外の方にもお送りしています。ご意見・ご感想などお寄せください。

## 名古屋夏の研究会 参加の感想

愛知・三倉直子（学校事務職員）

制度研の会でお会いした方が多く初参加ながら、緊張することなく参加できました。

実は以前から、調べる会の存在は、気になってはいたものの「この数字の世界に、自分が足を踏み入れることはないだろう・・・」とも思っていました。

みなさんの資料の緻密さに圧倒されながらも、「貧困な日本の教育条件を、よくしたい」という熱い想いに、大きな共感を覚えました。終日、ご一緒させていただいたことで、これまで橋口さんから断片的に語られた内容が少し形になってみえてきました。ありがとうございました。

## 新しい本を出そう！！・・・ご意見をお寄せください。

調べる会が本を出版してから、3年半が過ぎました。その間、2011年度の義務標準法の改正が行われ、新たな状況が生まれ、新たな問題も予想されます。

事務局長の山崎洋介さんが、この間いろいろな団体から要請を受け、講演をおこなったり、論文を発表したりしてきました。大阪府や長野県の教育財政分析にも着手しています。

当初の計画では、教育条件調査のデータをまとめたもので、各地域での調査活動の手引書ともなるような図書の出版を計画していましたが、今の情勢に応えるものを、またこの間の調査分析活動で明らかとなった事も盛り込んだ図書の出版が必要ではないかと、事務局では考えるようになっていきます。

10月いっぱいを目途に、あらまし原稿を作成したいと考えています。そして、1月の冬の研究会と4月の春の研究会で、会員の皆さまに検討していただき、出版にこぎつきたいと考えています。

ご意見など、お待ちしております。

### 図書のイメージ

1項目につき 本文1ページ + 図表1枚 = 約120ページ(50項目程度)

見出し・・・3頁

分析事例 20件×2枚・・・合計150頁程度に収める。

価格：2200円

出版社：交渉中

見本とする図書：「増補版 習うより慣れろの市町村財政分析」(B5サイズ)

1ページ当たり文章の文字数：19字×34行×2列=1292字(見出し3を含む)

このニュースは会員以外の方にもお送りしています。ご意見・ご感想などお寄せください。